

# 令和3年度（一財）日本建設情報総合センター 研究助成決定

令和3年度の研究助成については、8月4日に学識経験者を含めた審査委員会において厳正な審査を行い、応募があった8件のうち4件に対して研究助成を実施することを決定しました。

今年度も7つの対象課題を設定し、助成の対象となる研究を募集しました。特に応募が多かったのは、「ICT等に関する技術（AI、5G/IoT、XR(VR、AR、MR、SR)、センシング技術、画像処理技術等）の建設分野における活用に関する調査研究」でした。この課題への応募は、3年連続で最多となりましたが、これは近年、幅広い領域で注目を集めているAI（人工知能）やIoT（Internet of Things）のような技術革新の成果を、建設分野にも導入しようという意識の高まりが背景になっているものと考えられます。

応募者の所属については、大学等の教育機関が大部分を占めており、民間企業からの応募は1件に留まりました。また、平成29年度から若手研究者枠（35歳以下）を設定しており、これまで3件の研究に助成を実施しております。今年度は残念ながら若手研究者枠への応募はありませんでしたが、若手研究者による今後の研究の発展・充実を特に望みます。

なお、採択された研究については、JACICが主催する成果報告会だけでなく、国内外を問わず、広く学会等において充実した成果を発信し、建設情報システムの発展に大きく寄与することを期待します。

## 【審査委員会の委員】

大橋 正和（中央大学名誉教授）

島崎 敏一（日本大学名誉教授）

月尾 嘉男（東京大学名誉教授）

深澤 淳志（理事長）

伊藤 英隆（理事）

尾澤 卓思（理事）

期間	研究助成対象者	研究テーマ
2年	早稲田大学理工学術院 創造理工学部 教授 秋山 充良	ドローン・機械学習・3次元構造解析・信頼性理論の融合による劣化RC橋梁の健全度の自動判定
1年	香川大学 創造工学部 教授 山中 稔	常時微動探査による地層区分を援用した城郭三次元地盤図の構築
1年	松江工業高等専門学校 環境・建設工学科 教授 大屋 誠	建設DXのための建設技術者育成に関する研究
1年	三重大学 水産実験所 准教授 岡辺 拓巳	海岸の順応的管理に向けたハイブリッド地形データの活用に関する研究